



保育園に子供を預けている母親、保育士や子育てサークルサポーター等女性ばかり12名の参加でした。

◎悩んでいることなどを交えての自己紹介

○助言者

新座に長く住んでいる。経験をお話したい。

○参加者

- ・保育士。日々の保育の中で子どもと接する。悩みは多いが皆さんの話を聞きたい。
- ・保育士。皆さんのお話を聞きたい。
- ・保育士。子どもと楽しく生活の場を持ちたいが難しい。
- ・保育士。今日話を保育に、また自分が将来子を持ったときに活かしたい。
- ・子育てサークルサポーター。孫育てのつもりでやっている。
- ・小3、年中の母親。せっかく保育士の先生が多いので話を聞きたい。
- ・小2、2才児の母親。
- ・年長児、2才児の母親。
- ・年長児の母親。
- ・高2、小6の母親。絵本のよさを改めて確認。(絵本はたくさん読んであげていたら、
子どもの国語の成績がよい) 学校+学童なのでこどもはきつい。
- ・保育士。
- ・養護学校教諭。子どもが5人。16年間保育園に世話になっている。

◎参加者の悩みについて皆で話し合しましょう。

○小学校に上がった際の保育園とのギャップに不安がある。

→幼稚園に行っていた上の子は比較的早く順応した。下は保育園なので私も心配。

→学校は幼稚園出身が多く、比べると保育園出身者のほうが勉強が遅い気がする。

→子育てサークルも幼稚園の子が多い。

→ある小学校の校長先生が「5分座れば10分、10分座れば45分座れる。そしてそれは先生のやり方次第だ。」と言われたのが印象的だった。保育園出身者は着替え等が上手との評価。

→最近では1年生から5時間授業なので前より大変である。

→(就学前から)下手に字の勉強等をする(出来るからと)授業を聞かない子もいると聞いたことがある。また、保育園のほうが泥んこ遊び等できうらやましい。

→(保育士として)4.5才児を持ち上がりでみていて、年長の意識が強くなってきたと思う。また小学校に上がったときのことを見据え少しずつ名前を書く等行っている。

就学時検診を経てさらに学校へ行くという意識が強くなっている。

◎助言者より

保育園は生活の場。そこを目に見えない学習の場だと思って保育士は頑張っていると思う。(例:人の話を聞く。何かに興味があればそれに向かう。自分の世話をする等)

今は学校も子どももスピードの時代である。自身の子ども(保育園)が学校に上がったときはいまよりも圧倒的に幼稚園主流だった。でも差を感じたのは5月連休まで? 自分の気持ちを親に伝えられる関係を築くのが大切。たとえ子どもから伝えられなくても学校の情報が入るように親同士の横のつながりをつくとよい。

学校に上がっても保育園の元担任に相談してもよいのではないかな?

○今のお母さん達はメールを通信手段に使っているようだが電話はしないのか?

→(保育園ママは)仕事をしているのでメールのほうが楽。

→個人情報保護法のために同じクラスでも連絡先を知らないことがある。

○昔は先生は自分の電話番号を知らせていたが今はどうか?

→連絡帳があるので連絡事項はそれで伝える。

→先生の連絡先を教えるかは各先生による。

○家での遊びについて

→5歳違いの姉妹で遊ばせると10分が限界

→兄弟でDSのとりあいをする。

→保育園で教わった歌を親子で一緒に歌う。姉妹遊びは10分が限界

→父親と主に遊んでいる。

◎助言者より

お父さんお母さんと生活の中で遊ぶのが大切。日曜日の一時間でも庭で遊ぶ、20-30分言葉遊びをする、など特別なことじゃなくてよい。(園児を見ていて笑いのない子は心配。保育園では笑顔を見たいためいろいろ考える。子どもにとって親が笑っているのを見るのがよいこと。今は習い事をする保育園児も多い。どこかに預けて学べることもあるが日常生活の中で学べることも多い。絵本の読み聞かせなどお父さん、お母さんの生の声で伝え感じてもらいたい。

○父親と子どもの遊びについて

→今の若いママたちは手遊び、わらべ歌などは新鮮なようで喜ぶがアドバイス等はインターネットで再調査する。ギャップを感じる。「一緒に遊ぶ0分」のパパが多い。また行ってもゲームセンター。一緒に外で遊んだりするのは「めんどくさい」そうだが。

→外遊びをしても20分くらいで「つかれた～」と帰ってくる。

→自分の趣味(釣り)に子どもをつき合わせて泊りで遊んでくる。

→(自身の両親は)父親は釣り、野球等自分の物に引き込む。母親は家事が主で子どもの遊ぶのをみている感じ。保育園に預けているお母さん方はいつ自分の時間がある？

保育士としては時間があれば子どもと過ごして欲しいがやはり大変なのは理解。

→お母さんは大変と言っているが保育士のほうが大変。感謝しています。

→仕事だから出来る！

→一対一の付き合いは大変と思う。しかし子どもは面白い。近くの公園でも子どもが楽しいと感じればそれは思い出になる。

○小学校に上がる前の準備は？

→勉強うんぬんは枝葉であり、一番大切なのは生活リズムと思う。そしてたくさん遊ぶこと。早寝、早起き、日中は大いに活動する。

→年長組に上がってすぐの懇談会でも「生活リズムを整えるのは大事」と伝えた。

→日中の活動に睡眠は大いに影響する。

○兄弟が多いことについて

→(5人の母親)学資保険の試算から4人くらいは欲しいと思っていたが4回目の妊娠が双子だったのでびっくり！あわてて学資保険の額を下げた！

→教育費は本当にかかる。例えば以前双子を保育園に預けるのに毎月11万円保育費に消えていたなんてことも。学校に上がっても毎月いろいろ実費が取られて相当な額。

→保育料の値上げの話し合いの際市長に直接「値上げは保育の質向上のためではありません、とれるところからとるんです。」とはっきり言われた。保育園と社会は密接につながっていると実感した。

市への要望事項

- 1 すべての子どもが豊かな環境の中で育っていくように市として支援してください。
- 2 志木駅方面に子どもが遊べる児童センターを作ってください。
- 3 待機児童解消のため公立保育室を増設してください。
- 4 公的保育制度の維持、拡大を国に訴えてください。

申し合わせ事項

- 1 基本的な生活習慣をしっかりつけていこう。
- 2 子育てをしている仲間同士悩みを分かち合い支えあっていこう。
- 3 生活の中で子どもと一緒に遊び子育てを楽しんでいこう。